

施工管理の支援ツール

シビルサイト（福岡市）が、マイテック（大阪市）の協力を得て開発した建設情報管理システム『P-COS』。システムの企画・設計など開発の中心的な役割を担うのがシビルサイトの佐藤敏行代表。現場を熟知する国土交通省OBだ。「受注者が使いやすいシステムにした」と、経験が豊富な担当者も

変わる現場
ASP 情報共有 3

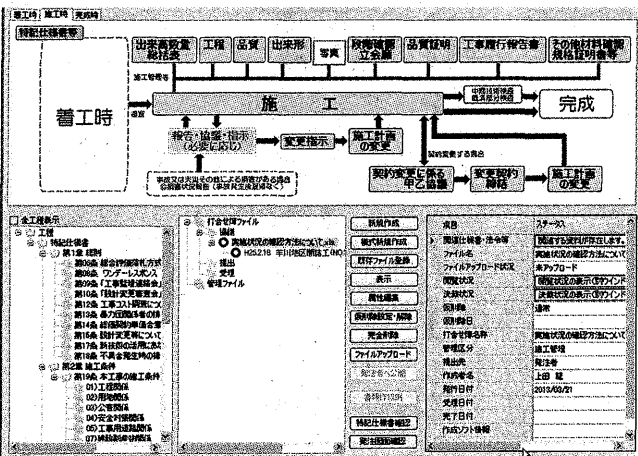
簡単に施工管理できるソフトを目指した。ログインは、インターネットに接続しないローカル環境で作業を行う場合と、情報共有システムにログインして作業する2種類の選択が可能だ。オフラインでの作業を可能にすることで、受注者は誤送信を気にせず、下書き作成ができる。

シビルサイトの「P-COS」

機能だ。実際にログインすると、着工時と施工時、完成時のシートがあり、それぞれに手続きの流れをチャート化したページに移る。これがメイン画面となるII図。

着工時の場合、入札・見積執行から契約締結、施工計画書作成に向けて必要な工程表や工事カルテの作成登録、現場代理人等届けなど、また施工時は、施工管理で求められる出来高数量総括表、工程、品質、出来高、写真などの手続きに求められる必須事項が並ぶ。必要な作業が時系列的に配され、一目で分かるのが特徴だ。

項目をクリックすれば、その検査する発注者のチェックも一



時系列で作業一日瞭然

段階で必要な書類様式を確認、作成できる。手続きが完了した項目は色が変化する仕組みとなり、受注者はもちろん、それを検査する発注者のチェックも一

目で見えるようになってくる。項目には、発注者に応じた、手続きに関する特記仕様書も盛り込まれている。受注者は特記仕様書を毎回調べることなく、必要な手続きを項目に従い入力するだけでよい。作業は基本的にドラッグアンドドロップで、直感的な操作が可能だ。また、ファイルを作成は、システムの中に自動的にフォルダをつくり、仕分けしてくれる機能も備わる。毎月提出が必要な施工時の工事履行報告書の作成などでは、上書きして過去の提出書類を紛失する心配もなくなる。

佐藤代表が「情報共有システムというより、まずは施工管理支援をしたい」と言うように正確な書類作成を主眼に置いている。「作業はより複雑化しており、正確な施工管理が工事成績アップの近道だ」と受注者のニーズにも手応えを持つ。発注者については「仕様書などが頭の中に入っていない人は多い。検査・監督職員の経験を持つ自分には彼らの苦労がよく分かる」と言う。

本工事での活用はまだなく、現在は受注者のみの利用で試行している。受注者からは「書類作成は早く、作成漏れも減らせる」と及第点を得た。今後は、軽微なバグをなくし、2013年度早期の活用を目指している。情報共有システムを持っていない自治体は多い。そういったところがターゲットになりそうだ。（安部慎太郎）

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| 16. 建設工業 | | |